NIEしもつけ ワークシート ㉚⑧

小学校高学年向け

年　組

2026年４月12日付・下野新聞３面

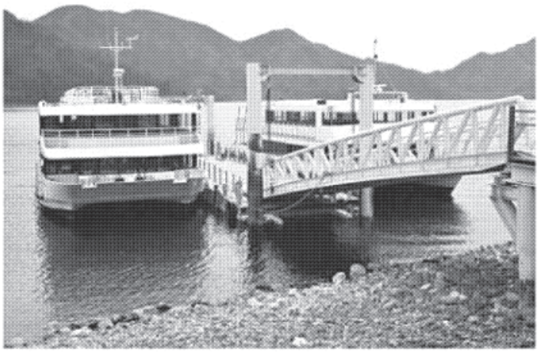
中禅寺湖 水位最低

雨不足、上野島が陸続きに

奥日光

奥日光の中禅寺湖の水位がここ数年では最も低下している。県日光土木事務所によると10日時点での水位は1271・48㍍で、例年同時期比で60㌢ほど下回って深刻化した2024年4月の水位をさらに下回り、湖南部の上野島が陸続きになる珍しい光景が出現している。観光業には厳しいシーズンの幕開けとなりそうで、関係者は恵みの雨を待ち望んでいる。（野上裕之）

憂う観光業、待つ〝恵み〟



上 渇水で陸続きとなった上野島（写真奥）＝9日午後3時 下 水位低下で急勾配となった浮桟橋につながる橋＝9日午後2時、いずれも奥日光中禅寺湖

下野新聞デジタルに動画

中禅寺湖畔にある菖蒲ケ浜。通常使用していた桟橋周辺には水がなく、はるか沖にボートが止めてある。同所の渡船業斎藤勇さん（75）は「40年ほど前だったと思うが、渇水で華厳の滝に水が落ちない時があった。それ以来では」と陸地とつながった上野島を見ながら説明する。円形の同島は、日光山輪王寺の聖地で勝道上人の墓所の一つでもあるため、周辺や内部への立ち入りは禁止されている。

奥日光湯元で温泉業を営む千手ケ浜在住の伊藤誠さん（76）も「3年連続の渇水。降雪が少なく、雪解け水の流入が減少しているのでは」と話す。長年湖畔で暮らす地元関係者たちは「ここまで下がるとは」と口をそろえ、驚きを隠せない。

県日光土木事務所は現在、華厳の滝の落水量を平日毎秒0・1㌧に減らし、夜間は停止して対応している。職員は「水位は近年最も低かった2年前よりもさらに低下している」とし、秋台風の減少など、降水量の少なさを一因に挙げる。

中禅寺湖漁協やボート貸出業者、遊覧船運営会社などもダメージを受けている。漁協の永田大介組合長（60）は「20日にボートでの釣りが解禁となるが、水辺まで距離があり、舟を下ろせない（運べない）」とし、対応策と経費の捻出に頭を悩ませる。

東武興業が運営する中禅寺湖遊覧船は17日が今シーズンの幕開けとなる予定。通常、着岸する菖蒲ケ浜と大使館別荘記念公園の2カ所は、付近を通過する代替コースで運行する。山田和行副支配人（60）は「浮桟橋の位置が極端に低下し、桟橋につながる橋も急勾配になってしまった」と説明する。関係者たちはそれでも「自然が相手ですから仕方のないことです」とし「雨を待つしかないですね」と期待している。

設　問

太郎さんは、遠足で訪れた日光市の中禅寺湖の水位が低下している記事に興味をもち、いろいろな疑問をもちながら読み進めました。

【１】太郎さんの疑問について、記事にはどのように書かれていますか。空欄に当てはまる数字や言葉を記事の中から見つけて書き入れましょう。

【２】あなたは、この記事を読んで、どんなことを疑問に思いましたか。

太郎さんの疑問

太郎さんの疑問	記事の内容
中禅寺湖の水位はどれくらい下がってしまったのかな？	ここ数年で最も低下しており、4月10日時点で、例年より[①]センチほど低い[②]メートル。
記事にある２枚の写真は、どんな状況を表しているのかな？	・湖の南に浮かんでいる[③]が、湖岸から陸続きになった。 ・湖に浮いている桟橋の位置がとても低下し、桟橋につながる[④]が[⑤]になった。
なぜ、こんなに水位が低下してしまったのかな？	・[⑥]が降る量が少なくて、雪解け水の流入が減っているから。 ・秋台風の減少などが原因で、[⑦]が少なくなっているから。
水位が低下して、困ることは、どんなことだろう？	・水辺までの距離が伸びてしまって、釣りをするための[⑧]を運べない。 ・[⑨]が、菖蒲ケ浜や大使館別荘記念公園に[⑩]することができない―など。

出題・監修は皆川美弥子県教委義務教育課学力向上コーディネーター